２０２２年度 長拳技能検定《初段・１級・２級》

実　施　要　綱

２０２２年１０月

公益社団法人 日本武術太極拳連盟 ジュニア普及委員会

長拳技能検定は、長拳愛好者の技術向上を奨励し、普及を促進するために実施するものである。
下記に基づいて、本年度の長拳技能検定《初段・１級・２級》の試験を実施する。

記

1. 実施日程・会場:

２０２２年度後期、日本武術太極拳連盟は下記の日程、５会場にて「長拳技能検定試験《初段・１級・２級》」と「事前講習会(長拳技術講習会)」を実施する。

①【東京会場】

- 日時：２０２３年１月１４日(土) 事前講習会(長拳技術講習会)～１５日(日) 技能検定試験
- 会場：日本連盟トレーニングセンター

※JR総武線「新小岩」駅南口より都営バス「京葉交差点」下車、徒歩約３分

②【大阪会場】

- 日時：２０２３年１月２８日(土) 事前講習会(長拳技術講習会)～２９日(日) 技能検定試験
- 会場：丸善インテックアリーナ大阪(大阪市中央体育館)

※地下鉄中央線「朝潮橋」駅下車、徒歩約２分

③【盛岡会場】

- 日時：２０２３年２月１８日(土) 事前講習会(長拳技術講習会)～１９日(日) 技能検定試験
- 会場：岩手県営武道館

※JR「盛岡」駅よりバス「城北小学校」下車、徒歩すぐ

④【福岡会場】

- 日時：２０２３年２月２５日(土) 事前講習会(長拳技術講習会)～２６日(日) 技能検定試験
- 会場：アクシオン福岡

※JR「博多」駅よりバス「アクシオン福岡前」下車

⑤【静岡会場】

- 日時：２０２３年３月２５日(土) 事前講習会(長拳技術講習会)～２６日(日) 技能検定試験
- 会場：沼津市総合体育館（予定）

※JR「沼津」駅下車、徒歩約 15 分

2. 実施内容:

<table>
<tr><th>・検定試験
・講習会</th><th>受験・受講資格</th><th>・検定審査員
・講習会講師</th><th>受験料
講習会受講料</th><th>登録料</th></tr>
<tr><td>技能検定
２級試験</td><td rowspan="2">・３級取得者
※2022年10月末までに登録済みの者
・学習期間：６ヶ月以上</td><td rowspan="5">公認Ｂ級指導員：
３～４名
（検定審査員は３名）
※ジュニア普及委員会が委嘱</td><td>・24歳以下:
２，５００円
・25歳以上:
５，０００円</td><td rowspan="3">３，０００円</td></tr>
<tr><td>事前講習会</td><td>事前講習会:
５，０００円</td></tr>
<tr><td>技能検定
１級試験</td><td rowspan="2">・２級取得者
・学習期間：１年以上</td><td>・24歳以下:
３，０００円
・25歳以上:
６，０００円</td></tr>
<tr><td>事前講習会</td><td>事前講習会:
５，０００円</td></tr>
<tr><td>技能検定
初段試験</td><td rowspan="2">・１級取得者
・学習期間：２年以上</td><td>・24歳以下:
４，０００円
・25歳以上:
８，０００円</td><td rowspan="2">４，０００円</td></tr>
<tr><td>事前講習会</td><td>事前講習会:
５，０００円</td></tr>
<tr><td>長拳
技術講習会</td><td>長拳初段・１～３級までの取得者で、今回受験しない者
※初段内容を受講希望する者は、初段または１級を取得していること</td><td colspan="2">長拳技術講習会 受講料：５，０００円</td></tr>
</table>

検定試験の前日にあたる１日目に事前講習会(長拳技術講習会)を実施、２日目に《初段・１級・２級》の検定試験をそれぞれ実施する。

事前講習会(長拳技術講習会)は、翌日の受験者に対して検定内容の確認と対策を、受験者以外の一般受講者に対しては、検定内容を中心にレベルアップのための講習を行う。将来的に上位級試験や指導員認定試験等の受験希望者は、こうした機会を積極的に活用されたい。

【事前講習会(長拳技術講習会)】 ～1日目～

■初段・１級・２級を受験する者…

・検定受験者のうち、事前講習会受講希望者に対して、検定内容の確認や問題点の修正などを中心に行う。

・検定受験者が事前講習会を受講希望する場合は、「各段級位申請・登録報告用紙」の該当欄に記入の上、受験料とは別に受講料５，０００円を支払うこと。

■長拳技術講習会のみ受講し、受験はしない者…

・これまでに初段および１級～３級を取得しており、翌日の検定を受験しない者を対象に、初段・１級・２級の検定内容を中心に、長拳の基礎・基本功・套路等の練習を通じてレベルアップを図るものである。<u>なお、初段内容中心の講習を希望する者は、長拳初段または１級を取得していること。</u>

・受講希望者は、別紙の「長拳技術講習会 参加申込書により申請する。その際受講資格である<u>取得段・級位と証書番号(証書に記された９桁の番号)を明記</u>の上、受講料５，０００円を支払うこと。

【技能検定試験《初段・1級・2級》】～2日目～

・技能検定試験は、下記の内容・基準に基づいて行う。

・初段・１級・２級それぞれの検定試験実施前に、試験手順等の説明をする。受験者は、全員これに参加しなければならない。また、この日は受験者以外の参加・見学を認めない。

・申請の際は受験資格を確認し、「各段級位申請・登録報告用紙」に必ず証書番号(証書に記された９桁の番号)を明記の上、受験料(上記の表参照)を支払うこと。

【技能検定試験内容と判定基準】

<table>
<tr><th rowspan="2">段・級</th><th colspan="2">套路試験</th><th colspan="2">基本功試験</th></tr>
<tr><th>内容</th><th>判定基準</th><th>内容</th><th>判定基準</th></tr>
<tr><td>２級</td><td>「初級長拳」
〈前半〉
1. 虚歩亮掌～
20. 仆歩亮掌</td><td rowspan="2">・套路動作内の手型・手法・歩型・歩法・腿法・身型・身法等が、ある程度正しくできている。
・勁力・力点がある程度明確で、一定のスピードがある。
・動作が比較的スムーズで緩急のリズムがあり、動作と視線が一致しており、意識と長拳の特徴をある程度表現できている。</td><td>・提膝平衡
・蹬腿
・外擺腿
・里合腿
・側踹腿</td><td>・テキストにある動作規格に基づき、下位級より高度な柔軟性と完成度を求める。
・平衡動作は、２秒以上静止することができる。</td></tr>
<tr><td>１級</td><td>「初級長拳」
〈全套路〉
1. 虚歩亮掌～
37. 収勢</td><td>・燕式平衡
・翻腰
・仆歩穿掌
・後掃腿
・騰空飛脚(二起脚)</td><td>・テキストにある動作規格に基づき、各動作の要領を理解し、ある程度スムーズに行うことができる。
・力点やリズムが、ある程度明確である。
・跳躍動作はほぼ空中で行うことができ、平衡動作は２秒以上静止することができる。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">初段</td><td rowspan="2">「長拳国際
第一套路
(長拳B)」
〈全套路〉
1. 予備勢～
62. 収勢</td><td rowspan="2">・套路動作内の手型・手法・歩型・歩法・腿法・身型・身法等の基本技術をおおむね理解し、比較的正確でスムーズに動くことができる。
・套路動作内の跳躍動作について、要領と動きをおおむね理解している。
・勁力・協調・精神・風格・リズム等、長拳の特徴をおおむね表現できている。
・コート内における套路の基本的な路線を、おおむね把握している。</td><td colspan="2">動作組合せ試験</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>判定基準</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>・12-② 提膝衝拳～
15-② 側身挙腿平衡
・22-③ 提膝推掌～
29. 並歩推掌
・53-⑤ 提膝抄拳～
57. 弓歩盤肘</td><td>・各跳躍動作の手順・要領を理解し、おおむねこなしている。
・各組合せ動作の規格が比較的正確で、勁力・協調・精神・風格・リズム等、おおむね表現できている。</td></tr>
</table>

※２級・１級の課題套路「初級長拳」の参考資料として、『初級長拳・入門棍術』テキスト(黄色の表紙)、および『国体公開競技套路 初級長拳』テキスト(オレンジ色の表紙)を活用する。

※初段の課題套路「長拳国際第一套路(長拳B)」の参考資料として、『国体公開競技套路 長拳国際規定第一套路 (長拳B套路)』テキスト(赤色の表紙)を活用する。

※初段の套路試験実施方法は、前半(1.予備勢～41.横襠歩亮掌)と後半(41.横襠歩亮掌～62.収勢)に分け、半套ずつ演技する。

3. 受験・受講申請手続き：年齢の基準は２０２２年１０月１日現在とする。

■検定受験料……２級＝24歳以下２，５００円 ／ 25歳以上５，０００円
１級＝24歳以下３，０００円 ／ 25歳以上６，０００円
初段＝24歳以下４，０００円 ／ 25歳以上８，０００円

■事前講習会(長拳技術講習会) 受講料 …… 全受講者 一律５，０００円

①検定受験申請者は「各段級位申請・登録報告用紙」に必要事項を記入の上、受験料とともに所属の都道府県連盟に提出する。同時に事前講習会への受講希望者は、同申請書内の該当欄に記入し、受講料とあわせて納付する。

註：受験資格は３～１級取得者に限られるため、「各段級位申請・登録報告用紙」の級位証書番号記入欄に、**必ず級位証書番号(証書に記された９桁の番号)を明記する。**

②受験をしない長拳技術講習会(事前講習会)への受講希望者は、「長拳技術講習会 参加申込書」に必要事項を記入の上、受講料とともに所属の都道府県連盟に提出(納付)する。

註：受講資格は３～１級・初段取得者に限られるため、「長拳技術講習会 参加申込書」の段・級位証書番号記入欄に、**必ず段・級位証書番号(証書に記された９桁の番号)を明記する。**

③都道府県連盟は、提出された「各段級位申請・登録報告用紙」および「長拳技術講習会 参加申込書」の記載内容を確認し、原本をまとめて「『長拳技能検定《初段・１級・２級》』『長拳技術講習会』受験・受講申請一括送付状」を添付し、下記の期限までに日本連盟に送付する。「各段級位申請・登録報告用紙」「長拳技術講習会 参加申込書」「『長拳技能検定《初段・１級・２級》』『長拳技術講習会』受験・受講申請一括送付状」のコピーは、都道府県連盟が保管する。受験・受講料の合計金額を、下記の日本連盟 指定口座に振り込む。

◎受験・受講申請書類一式の提出期限→ ２０２２年１１月３０日（水）

■指定銀行口座／みずほ銀行　四谷支店　普通口座　１７５７８００
口座名義：公益社団法人日本武術太極拳連盟

4. 受験・受講票と受験・受講案内等について:

１２月中旬に都道府県連盟宛に、受験・受講票、受験・受講案内等が送付される。都道府県連盟は、これらの書類を各受験・受講者に送付する。

●受験票への顔写真貼付について：

受験票への写真貼付は、受験者が受験票を入手してから本人が指定箇所に貼付する。したがって受験申請時には写真の提出は必要ないが、事前に写真１枚(ヨコ 2.5 ㎝×タテ３㎝)を用意しておく。検定当日、会場で受験票を提示する際に写真が貼付されていない場合は無効とし、試験を受けることができない。

5. 検定試験の実施方法について:

・検定試験当日の開会式において、検定審査員が抱拳礼、諸注意、出場順発表、試験手順説明等を行う。

・2級･1級の「基本功試験」は2～4名を1グループとし、グループごとに演技を進める。全グループが「基本功試験」を終了後、「套路試験」へ。「套路試験」は1～2名ずつで演技を行う。
初段の「動作組合せ試験」は3～5名を1グループとし、演技は1名ずつ行う。1グループの全員が「動作組合せ試験」を終了したら、次のグループへと進める。全グループが「動作組合せ試験」を終了後、「套路試験」へ。「套路試験」も引き続き同じグループで進め、演技は1名ずつ行う。1グループの全員が「套路試験」を終了したら、次のグループへと進める。初段の「套路試験」は、前半・後半の半套ずつ演技(3頁の**【技能検定試験内容と判定基準】**の表の下※印を参照) を行う。
ただし各試験の実施方法は、受験者数や会場の状況により変更する場合がある。

・「套路試験」は、受験者が忘却や失敗により演技が続けられなかった場合、その場でやり直すか、あるいは最終順にまわってやり直す。2回までのやり直しを認める。

・検定試験終了後は閉会式を行う。合否の通知時期や合格者の登録料納付等についての連絡事項を伝え、最後の抱拳礼をもって終了する。

6. 基本タイムスケジュール:

1日目《技術講習会》 全会場共通	2日目《検定試験》 全会場共通
12:30 受付 13:00 開講式 :05 事前･技術講習会 ※随時〈休憩〉 16:30 閉講式･解散	9:30 2級･1級 受付 10:00 〃 開会式 :10 〃 試験手順説明 :40 2級 検定試験(基本功・套路試験) (2級 解散) 11:30 1級 検定試験(基本功・套路試験) 12:30 〃 閉会式・解散 〈休憩〉 13:30 初段 受付 14:00 〃 開会式 :10 〃 試験手順説明 :40 〃 検定試験(動作組合せ・套路試験) 16:15 〃 閉会式・解散

※受験者数、会場の状況により変更される場合がある。

7. 持参するもの:

運動着、室内用シューズ、タオル、各種テキスト(3頁下の※印を参照)等、各自が必要と思うもの。

8. 検定審査員:

日本連盟専門委員会のジュニア普及委員会が、公認B級指導員3名を「検定審査員」として委嘱する。

9. 合否判定方法:

2. 実施内容にある**【技能検定試験内容と判定基準】**の内容に基づき、下位級より高い技術レベルを基準として、3名の検定審査員が各項目を合否で判定する。

なお2級･1級の「基本功試験」は、5項目のうち2項目以上の“否”で「基本功試験」は不合格となる。「基本功」「套路」両試験で合格の場合にのみ、《2級》《1級》それぞれの級位を合格とする。

また初段の「動作組合せ試験」は、3項目のうち2項目以上の“否”で「動作組合せ試験」は不合格となる。「動作組合せ」「套路」両試験で合格の場合にのみ、《初段》合格とする。

以上の判定方法により、最終合否を決定する。

10. 合否結果の通知:

東京･大阪両会場の合否結果は2月中旬に、盛岡･福岡両会場の合否結果は3月上旬に、静岡会場の合否結果は3月末にそれぞれ各都道府県連盟宛に通知する。

11. 登録手続き:

合格者は、都道府県連盟を通じて合格段･級位の登録手続きを行う。

都道府県連盟は、登録者を確認し日本連盟に通知するとともに、**登録料(初段：4，000円／1級･2級：いずれも3，000円)の配分比率(日本連盟6：都道府県連盟4)に基づいた金額を日本連盟に納付する。**

12. 認定証書等の送付:

《初段･1級･2級》の登録手続きをした者には、「認定証書」と象徴物として「バッジ」が付与される。認定された段位・級位は、今後昇段・昇級しない限り終身称号とし、更新手続きは必要としない。

13. その他:

東京会場(日本連盟トレーニングセンター)への参加者で、下記ホテルの条件での宿泊を希望する者は、直接ホテルに申込むことができる。

■「新小岩パークホテル」…… JR総武線「新小岩」駅北口より、徒歩約2分

〒124-0023　東京都葛飾区東新小岩 1-1-3　TEL. ０３－３６９１－０５５５

・シングルルーム　1泊6，300円（朝食は別途1，200円）

※通常1泊6，800円のところ、電話申込みの際に「日本武術太極拳連盟 会員」であることを伝えて申込めば、５００円割引となる。

以上